

大学史研究通信

第 68 号、2011 年 10 月 4 日 (火)

大学史研究会

第 68 号の内容 : 第 34 回研究セミナー開催にあたって・第 34 回研究セミナーの出欠確認について・盛岡までの交通について・資料館の見学について・懇親会について・2011 年度総会における事務局提案事項・2012 年度大学史研究セミナーの会場及びテーマの募集・事務局からのお知らせ・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

第 34 回研究セミナー開催にあたって

岩手大学
大川 一毅

大学史研究会「第 34 回研究セミナー」を岩手大学で開催いたします。会員各位のご来盛を心より歓迎いたします。

事務局から、盛岡での開催を打診されたのは二年前のこと。お引き受けをして以降ずっと、盛岡のどこをご紹介しようか、大学の何をお見せしようか、とあれこれ楽しく思いをめぐらせておりました。しかし今年 3 月に起きた東日本大震災は「圧倒的な天変地異」でした。セミナーの開催については、もはや有無を言わせぬ「厳しい現実」に思えました。

地震発生から数日たち、盛岡の街にようやく電気や水道が通じた頃、セミナー開催の如何をあらためて岩手大学の皆様に相談いたしました。その時のお返事はこうでした。「可能な限り開催してください。大学の機能と責務を維持してください。先々の復興を考え、自粛をせず、すみやかに開催宣言してください。セミナーの開催に大学も協力します。」

こうして、このたびの開催にこぎ着けることができました。今年のセミナー開催には、震災復興に向けた岩手大学の願いも込められています。

盛岡は日ごとに秋色を深めております。鮭の遡上も始まったようです。10 月には紅葉が街を錦に染め上げましょう。皆様の笑顔を楽しみにお待ちしております。

第 34 回研究セミナーの出欠確認について

第 34 回大学史研究セミナーは 10 月 29 日 (土)・30 日 (日) の両日にわたり開催します。詳細については、本通信に同封しているプログラムをご参照ください。

事前にセミナーの出欠確認を行います。同封のはがきに御氏名と出欠状況をご記入の上、**10 月 17 日 (月曜日)**までに必ずご投函ください。

地域復興の途上にある中、会場校の大川一毅会員、岩手大学の職員の方々のご尽力によりセミナーの開催が可能となりました。復興の一助となるべく、多くの会員のご参加をお待ちしております。

盛岡までの交通について

■ 新幹線ご利用の場合

東北新幹線は震災以前のダイヤに復旧しました。

東京駅－盛岡駅 はやぶさ号 2時間 20分
 はやて・こまち号 2時間 26分

大宮駅－盛岡駅 はやぶさ号 1時間 55分
 はやて・こまち号 2時間 00分

- ※ 当日に東京駅からいらっしゃる場合、東京 9 時 36 分発（大宮 10 時 01 分発）の「はやぶさ 3 号」に乗車すれば、11 時 59 分に盛岡到着です。
東京 9 時 56 分発（大宮 10 時 22 分発）の「はやて・こまち 21 号」にご乗車いただいても、盛岡着が 12 時 22 分です。セミナーの開催時間には余裕を持って間に合います。
- ※ 東京在住の会員で、新宿駅または池袋駅をご利用の場合、「湘南新宿ライナー」もしくは「埼京線快速」（いずれも普通料金）を利用して大宮駅から新幹線に乗車すると便利です。

■ 航空機ご利用の場合

★ 関西方面から

大阪（伊丹）－花巻：1 時間 30 分

リムジンバス

花巻空港－盛岡駅 ■ 所要時分 5 3 分
 ■ 運賃 大人 1, 4 0 0 円 （予約不要）
 ■ 花巻空港発着全便に対応して運行
 ■ 航空機発 4 2 分前に到着
 ■ 航空機着 1 5 分後に発車

空港バス時刻表

<http://www.iwatekenkotsu.co.jp/rosen-jikoku/morioka/110314pdf/hanamakikukou.htm>

★ 福岡・広島方面から

各空港から仙台空港着の便を利用。

仙台空港からは「仙台空港アクセス線」に乗車し、仙台駅からは東北新幹線をご利用下さい。

※各空港から羽田空港着の便を利用し、東京駅から東北新幹線を利用した方が便利な場合もあります。

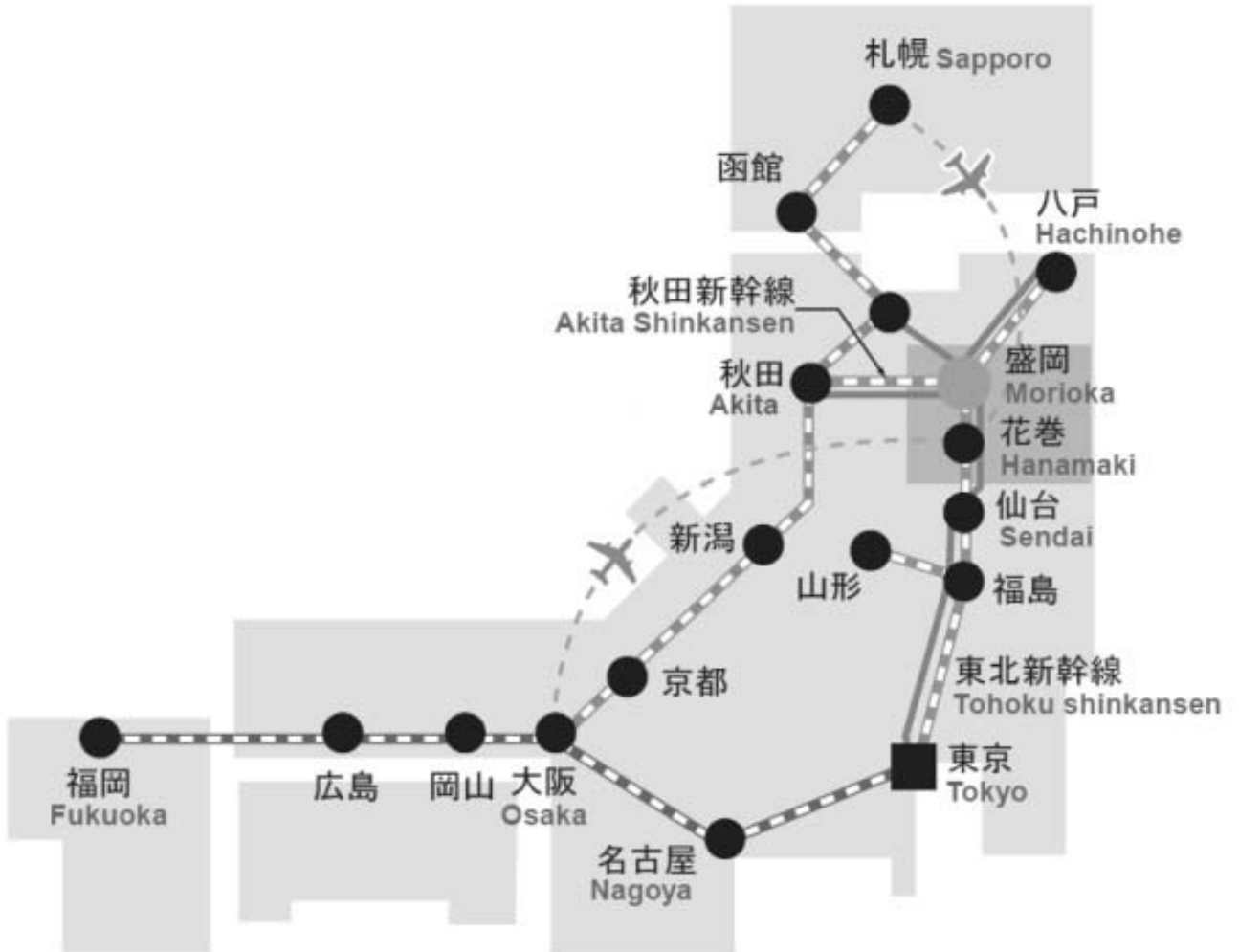
※仙台空港は 7 月より国内定期便の運行が再開されました。

※仙台空港アクセス線は、10 月 1 日より全線運行再開します。

★ 名古屋方面から

便数と時間は限られますが、フジドリームエアライン（名古屋小牧空港～花巻空港）も就航しています。

[盛岡までの交通アクセス]



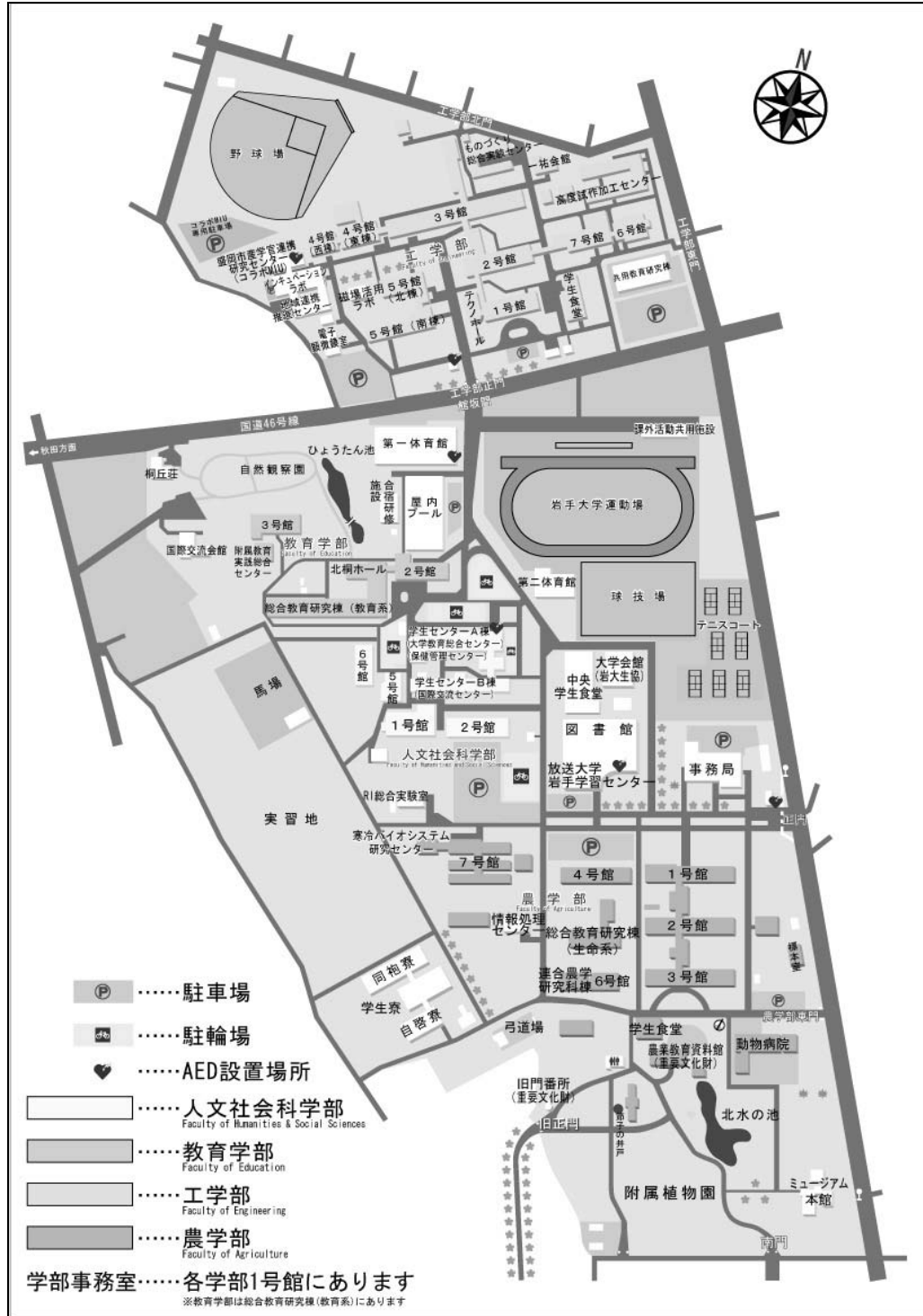
[盛岡駅から岩手大学までのアクセス]



[盛岡駅から岩手大学までのアクセス地図 QR]



[岩手大学キャンパスマップ]



[岩手大学キャンパスマップ QR]



資料館の見学について

【岩手大学農学部附属農業教育資料館（重要文化財「旧盛岡高等農林学校本館」）見学について】

このたびのセミナー開催にあわせ、本学に遺構保存されている「岩手大学農学部附属農業教育資料館（旧盛岡高等農林学校本館）」の見学も準備しております。

この資料館は、明治 35(1902)年に創立された我が国最初の高等農林学校である盛岡高等農林学校の本館として、大正元(1912)年 12 月に建てられました。青森ヒバを用いた明治後期を代表する木造二階建ての欧風建築物です。当時、一階は校長室、事務室、会議室、二階は大講堂として諸学校行事に使われていました。昭和 24 年、学制改革による新制岩手大学の発足後は、昭和 49(1974)年まで大学本部として使われました。昭和 52(1977)年には同窓生の寄金により改修が行われ、現在は「農学部附属農業教育資料館」として使用されています。平成 6 (1994) 年には「門番所」及び「旧正門」とともに国の重要文化財に指定され、ほぼ設立当時の状態に大修復されました。旧制官立専門学校の中心施設として現存する数少ない遺構の一つであり、我が国の学校建築の歴史を知る上で貴重な建物です。

資料館には盛岡高等農林学校時代の教材用標本、図譜類、その他の歴史的資料、宮沢賢治が在学中に使用した教材や彼が採取してきた岩石なども展示されています。講堂や校長室も当時の様子をよく伝えています。

(こぼればなし)

今年の夏から来年の春まで、この「資料館」は大改修のために全館閉鎖の予定でした。ところが震災の影響で工事着工は 11 月以降に延期されました。かくなる事情をもちまして、皆様のご高覧にかなうこととなりました。「なんと申してよいやら」ですが・・・。

「資料館」は本来入場料をいただくことになっておりますが、大学史研究会の果たす役割を岩手大学（農学部）が理解くださり、「入場無料」としていただきました。

見学にあたっては、ボランティアさんに案内をお願いする予定です。しかし「大学史研究会会員」の見学ということで「誰を案内担当者にするか」ご苦勞なさっている様子です。もちろん各位の興味関心のおもむくままに、ゆっくりじっくり見学いただいても結構です。

★岩手大学農学部附属農業教育資料館 URL

<http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/edu/>



岩手大学農学部附属農業教育資料館（重要文化財「旧盛岡高等農林学校本館」）



大正初期の盛岡高等農林学校

懇親会について

大学史研究会会員相互の親睦と、今後の研究に向けた情報交換の場として、懇親会を開催します。会場は、盛岡の中心街「大通り商店街」に店を構える岩手郷土料理屋さんです。「ここ一軒で、岩手県」という店のうたい文句どおり、岩手の食材、名産、お酒が豊富に

そろっています。岩手の味覚をどうぞご堪能いただきながら、地域経済復興にご助力ください。大学から会場までは、マイクロバス等を用意します。お店から盛岡城趾はすぐ近く。駅までは徒歩10分くらいです。

「南部落長屋酒場」 住所：盛岡市大通 2-6-4

<http://www.dreamlink.co.jp/nagaya-nanbu/index.html>

〔盛岡市市街地マップQR〕



2011年度総会における事務局提案事項

今年度の総会をセミナー第一日目（10月29日）に開催します。議題は以下を予定しています。

- ① 2011年度会計報告
- ② 2012年度予算案
- ③ 紀要関係報告
- ④ 2012年度セミナー会場・テーマ募集
- ⑤ 事務局体制の変更について
- ⑥ 研究会ホームページの移管について

上記以外に総会において議論したい事項、会員への提案事項などをお持ちの方は、10月15日までにセミナー担当までお知らせ下さい。

（セミナー担当 福留東土）

2012年度大学史研究セミナーの会場及びテーマの募集

事務局では、来年度（2012年度）開催予定の第35回大学史研究セミナーの会場およびシンポジウムのテーマを募集しています。会場をお引き受けいただける会員の方、あるいはシンポジウムのテーマについてご提案をお持ちの方は、事務局セミナー担当までご連絡下さい。今月の岩手セミナーの場でのご提案もお待ちしております。

（セミナー担当 福留東土）



重要文化財「旧盛岡高等農林学校本館 旧正門」

原稿募集

『大学史研究通信』第 69 号は 2012 年 1 月 31 日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿提出・お問い合わせ等は、事務局（代表 E メールアドレス：jshshe@wwsoc.nii.ac.jp）、もしくは本通信編集担当の井上までお願いいたします。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は事務局までご一報くださるようお願いいたします。また、教授・研究のために海外にご滞在予定の方も、海外でのご連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は事務局代表 E メールアドレス（jshshe@wwsoc.nii.ac.jp）までお願いいたします。なお、変更届にあたっては、年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第 14 号～現在発行号までを希望者に頒布いたします。事務局代表 E メールアドレス（jshshe@wwsoc.nii.ac.jp）までご連絡ください。折り返し、請求方法をご連絡いたします。

編集後記

東日本大震災から半年が経ちました。この通信を編集している今、そしてこの通信が会員の皆様のお手元に届く今、被災地では様々な困難や不安のなか現実に向き合いながら一生懸命に今を生きている方々が多くいらっしゃるかと存じます。

地域復興の途上にある中、会場校の大川一毅会員、岩手大学の職員の方々のご尽力に改めて心より感謝申し上げます。

復興の一助となるべく、多くの会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

（井上 美香子 記）



重要文化財「旧盛岡高等農林学校本館 門番所」

『大学史研究通信』第68号の編集は事務局・井上美香子が担当いたしました。

連絡先 〒812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学 大学文書館百年史編集室
TEL : 092-642-7189 FAX:092-642-3956
E-mail: inoue.mikako.239@m.kyushu-u.ac.jp

『大学史研究通信』第69号は、2012年1月31日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒739□8512 広島県東広島市鏡山 1-2-2
広島大学 高等教育研究開発センター 福留 東土研究室 大学史研究会
TEL&FAX : 082-424-6231
E-mail: fukudome@hiroshima-u.ac.jp
URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jshshe/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願いいたします。
E-mail: jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp

大学史研究会事務局員（五十音順）

浅沼 薫奈（大東文化大学）	井上 美香子（九州大学）
岡田 大士（中央大学）	沖塩 有希子（千葉商科大学）
五島 敦子（南山大学短期大学部）	福留 東土（広島大学）